

物性研究所報告

内容

1. R2年度人事異動
2. R2,3年度客員所員
3. R2,3年度外国人客員所員
4. 人事公募
5. R3年 短期研究会・
ISSP-WS・国際WS
6. R2年度共同利用状況
(コロナ禍対応)
7. 共同利用システムの整備について



物性研究所 森 初果



1. R2年度人事異動

部門・施設名等	職 名	氏 名	異動年月日	備 考
〈 採 用 〉				
凝縮系物性研究部門	助手	村山 千壽子	R2.4.1	東京大学物性研究所教務職員から
附属極限コヒーレント光科学研究センター	特任助教	櫻井 治之	R2.4.1	東京大学大学院理学系研究科特任研究員から
凝縮系物性研究部門	助教	武田 晃	R2.5.1	東京大学物性研究所特任研究員から
附属中性子科学研究施設	助教	齋藤 開	R2.5.1	高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所博士研究員から
ナノスケール物性研究部門	助教	森 泰蔵	R2.6.1	東京大学大学院新領域創成科学研究科特任講師から
附属極限コヒーレント光科学研究センター	准教授	木村 隆志	R2.7.1	東京大学大学院工学系研究科特任助教から
附属極限コヒーレント光科学研究センター	助教	堀尾 眞史	R2.9.16	チューリッヒ大学 ポスドク研究員から
附属中性子科学研究施設	准教授	眞弓 皓一	R2.11.1	東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任講師から
附属中性子科学研究施設	特任教授	Rietveld Ivo Boudewijn	R2.11.9	パリ第五大学准教授から
機能物性研究グループ	特任教授	陳 少強	R2.12.28	華東師範大学電子工程系教授から
機能物性研究グループ	特任助教	奥村 駿	R3.2.1	日本学術振興会特別研究員から
〈 退 職 〉				
凝縮系物性研究部門	特任教授	SINGH Yogesh	R2.5.31	Institute of Physics, Chinese Academy of Sciences
附属極限コヒーレント光科学研究センター	助教	宮脇 淳	R2.7.31	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構任期制常勤職員（研究職）へ
附属極限コヒーレント光科学研究センター	助教	石田 行章	R2.8.15	韓国基礎科学院強相関電子研究センター Young Scientist Fellowへ
量子物質研究グループ	特任助教	肥後 友也	R3.2.15	東京大学大学院理学系研究科特任准教授へ
ナノスケール物性研究部門	教授	小森 文夫	R3.3.31	
凝縮系物性研究部門	教授	榊原 俊郎	R3.3.31	
凝縮系物性研究部門	教授	瀧川 仁	R3.3.31	
量子物質研究グループ	助教	多田 靖啓	R3.3.31	広島大学先進理工系科学研究科テニユアトラック准教授へ
附属国際超強磁場科学研究施設	助教	中村 大輔	R3.3.31	理化学研究所研究員へ

2. R2,R3年度客員所員

年度	氏 名	本務先・職名	任期		分野	関係 所員
			(自)	(至)		
R2	樋山 みやび	群馬大学大学院理工学府・准教授	R2.4.1	R3.3.31	生物発光関連材光機能に向けた理論・実験融合研究	秋山
	田中 秀数	東京工業大学理学院・教授	R2.4.1	R3.3.31	量子フラストレートスピン系の中性子散乱研究	益田
	今中 康貴	物質・材料研究機構低温応用ステーション・ステーション長	R2.4.1	R3.3.31	メガガウス磁場サイクロトロン共鳴による半導体・半金属の研究	松田 (康)
	高山 あかり	早稲田大学理工学術院・専任講師	R2.4.1	R3.3.31	対称性の破れた原子層構造における新奇物性解明の研究	小森
	本山 岳	島根大学学術研究院理工系・准教授	R2.4.1	R3.3.31	圧力下における超伝導ギャップの観測を目指した点接合分光測定法の開発	上床
	井原 慶彦	北海道大学大学院理学研究科・講師	R2.4.1	R3.3.31	磁場誘起量子凝縮相の微視的電子状態解明	小濱
R3	林 智広	東京工業大学物質理工学院材料系・准教授	R3.4.1	R4.3.31	固液海面の機能制御に向けた放射光分光研究	原田
	稲村 泰弘	日本原子力研究開発機構・研究員	R3.4.1	R4.3.31	時分割中性子散乱法の高度化とそれを用いた個体物性研究	中島
	※ 網掛けは、テーマ提案型					

3. R2,R3年度外国人客員所員

年度	氏 名	本 務 先	任期（自）	任期（至）	分野	関係 所員
R2	JAIME, Marcelo	Los Alamos National Laboratory, National High Magnetic Field Laboratory	(R2.5.11)	(R2.8.31)	極限磁場および一軸性応力下での熱物性による電子ネマティック相の解明	小濱口
	RIETVELD, Ivo B	SMS (Sciences et Méthodes Séparatives) Laboratory, University of Rouen, France and Faculty of Pharmacy, University Paris Descartes, France	R2.11.9	R3.8.10	構造とエネルギーの精度を必要とする有機結晶多形の理解と制御	山室
	CHEN, Shaoqiang	華東師範大学 (East China Normal University)	R2.12.28	R3.5.31	単結晶ペロブスカイト微小共振器における超高速レーザーダイナミクスと励起子効果	秋山
	DORICHKO, Natalia ※typeB	Johns Hopkins University	(R2.6.1)	(R2.6.30)	有機物と無機物における新規量子現象の探索	山下
	朱 琳 (ZHU, Lin) ※typeB	中山大学 Sun Yat-sen University	(R2.12.1)	(R2.1.20)	格子不整合を有する量子ドットおよび多接合太陽電池における光起電力発生機構とキャリアダイナミクス	秋山
	ZHAO, Zhigang ※typeB	山東大学 Shandong University	(R3.1.25)	(R3.2.25)	ARPES/レーザー加工のためのコンパクトレーザーシステム開発	小林
R3	MORAS, Paolo	Istituto di Struttura della Materia - Consiglio nazionale delle Ricerche Istituto di struttura della materia イタリア学術会議 (CNR) 物質構造研究所 (ISM)	(R4.3.1)	(R4.8.31)	Development of novel methodologies for material science at the next-generation synchrotron source 次世代放射光光源による物質科学のための新しい分析法の開発	松田(蔵)
	BATZILL, Matthias Marcus	Department of Physics, the University of South Florida 南フロリダ大学物理学科	(R4.2.21)	(R4.8.19)	Electronic and Magnetic properties of Nanostructures in monolayer transition metal dichalcogenides 単層遷移金属ダイカルコゲナイドのナノ構造における電子状態・磁気構造	長谷川
	PORTUGALL, Oliver	Laboratoire National des Champs Magnétiques Intenses, Toulouse (CNRS) トゥールーズ国立強磁場研究所	(R3.9.1)	(R4.2.28)	Advanced development of megagauss-field- generation techniques using the single-turn coil method and its application to condensed matter physics 一巻きコイル法を用いた超強磁場発生技術の深化と物性研究への応用	松田(康)
	ZHANG, Wei	Oakland University, Physics Department. Argonne National Laboratory (兼務先) オークランド大学、物理学専攻科 アルゴンヌ国立研究所 (兼務先)	(R4.5.1)	(R4.8.31)	Spin dynamics experiments with magnetic spin Hall effect and antiferromagnetic domain walls in non-collinear magnetic systems 「非共線磁気構造における磁気スピンホール効果と反強磁性磁壁のスピンダイナミクス実験	大谷
	HADDAD, Sonia	Laboratoire de Physique de la Matière Condensée, Faculté des Sciences de Tunis, Université Tunis El Manar チュニス・エルマナール大学 チュニス科学院 物性物理学研究部門	(R3.12.1)	(R4.8.31)	Theoretical study of electrical and thermal transport properties of topological materials: the case of twisted bilayer graphene and Weyl semimetals. トポロジカル物質の電氣的・熱的輸送特性の理論的研究：捩れ積層グラフェンとワイル半金属	長田
・網掛けについては、キャンセル			() は予定			

4. 人事公募

物性研究所研究員（若手）の公募について

このたび、東京大学物性研究所では、下記の要領で若手研究員を公募します。つきましては、関係各位に広くお知らせいただくとともに適任者の推薦および応募について、よろしく お取り計らいくださるようお願いいたします。

記

1. 公募職種：特任研究員
2. 公募人員：若干名
3. 職務内容：物性科学における実験的または理論的研究
4. 応募資格：次の 3 条件を満たしている者
 - (1) 博士号または同等の資格取得後 5 年程度までの者、または、着任時までに取得が 確実に見込まれる者
 - (2) 着任予定時に主たる職、大学院生および研究生等の身分を有しないこと
 - (3) 希望する物性研究所所員（教授または准教授）と事前に連絡をとり、所員の同意 の上で研究計画等の作成を行うこと。希望する所員の受け入れ許可がない場合 には応募は受け付けない。なお複数の研究室にまたがる研究テーマに取り組む 場合には、主たる受け入れ所員を指定すること。
5. 任期：原則として 2 年間、その後、状況によっては再応募を認める。ただし、延長期間 は 1 年間とし、再応募は 1 回のみとする。
6. 勤務態様・手当・給与等：
週 5 日、裁量労働制（週当たり 38 時間 45 分相当） 雇用保険・文部科学省共済組合に加入、通勤手当有 給与は「東京大学年俸制給与の適用に関する規則」に定める第 4 条、第 5 条及び第 6 条による（年額約 430 万円程度）
7. 選考方法：選考委員会が提出書類、および、受け入れ所員に対する面接に基づき選考する

8. 提出書類：

(1) 履歴書

下記 URL にある東京大学統一履歴書フォーマットに基づき、作成すること

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

(2) 発表論文リスト

(3) 主な論文別刷り（3 編以内）

(4) これまでの主な業績のまとめ（2000 字以内）

(5) 受け入れ研究室での期間内における研究計画（2000 字以内）

(6) 指導教員または推薦者による本人に関する意見書

9. 公募締切： **2021 年 3 月 31 日（水）** 必着

10. 採用予定日：2021 年 9 月 1 日から 2022 年 2 月末日までに着任すること

11. 書類提出方法：

郵送又は電子メール送付

郵 送：「物性研究所研究員（〇〇研究室）応募」と朱書き、簡易書留等の配達 状況が確認可能な方法で送付すること。受け入れ所員名の記載が無い場合 には 不受理。

電子メー ル：件名を「物性研究所研究員（〇〇研究室）応募」とし、応募の旨 を 総務係までメールで知らせること。その後、返信にて指定された書類送 付先 フォルダに応募書類一式を保存すること。

12. 書類提出先：

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉 5 丁目 1 番 5 号 東京大学物性研究所総務係

電話 04-7136-3591

e-mail [issp-jinji@issp.u-](mailto:issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp)

[tokyo.ac.jp](https://www.u-tokyo.ac.jp)

13. その他：

東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎する。なお、送付された応募書類等は返却しないので、了解の上、申し込むこと。履歴書等の 個人情報 は本公募の用途に限り使用し、第三者への開示、譲渡及び貸与すること はない。

東京大学物性研究所教員公募について（依頼）

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。

記

1. 研究部門名等および公募人員数 機能物性研究グループ（岡研究室） 助教1名

2. 研究内容

広い意味での物性理論、統計力学、場の理論の研究。本研究室では、非平衡量子物質における新現象の発見や基礎学理構築を目指し、場の理論や数値的手法などを用いて研究に取り組んできました。今後は、従来からの量子多体物理を基盤としつつ、生体現象の理解と制御、量子情報・計算を含む情報物理学や、それらの基礎となる非平衡多体物理、高エネルギー物理など、異分野との境界領域の研究を目指す。本公募では、上記のような新分野の開拓に意欲的な若手理論研究者を募集する。多体物理、場の理論、数値手法のバックグラウンドをもつことが望ましい。また、大学院生の指導も積極的に行う意欲のある方が望ましい。

3. 応募資格

博士号取得、またはこれと同等以上の能力を持つ方。
（令和4年3月までに博士学位取得予定の方も可。）

4. 任期 任期5年、再任可。ただし、1回を限度とする。

5. 公募締切

2021年4月23日（金）必着

6. 着任時期

採用決定後なるべく早い時期。新卒の方は令和4年4月1日も可。

7. 提出書類

- 推薦書または意見書（作成者から書類提出先に直送すること）
- 履歴書

- 業績リスト（主要論文に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（3編程度、コピー可）
- 研究業績の概要（2000字程度）
- 研究計画書（2000字程度）

8. 書類提出方法

郵送又はメール送付

郵 送：「機能物性研究グループ（岡研究室）助教応募書類在中」と朱書き、簡易書留等 配達状況が確認可能な方法で送付すること。

メール： 件名は「機能物性研究グループ（岡研究室）助教応募」とし、総務係までメールを送付すること。総務係から書類送付先フォルダを連絡するので、そちらに 応募書類一式を保存すること。

9. 書類提出先

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号 東京大学物性研究所総務係
電話 04-7136-3207 e-mail issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp

10. 本件に関する問い合わせ先

東京大学物性研究所 機能物性研究グループ 教授 岡 隆史 e-mail oka@issp.u-tokyo.ac.jp

11. 選考方法

東京大学物性研究所教授会の議を経て、審査決定します。ただし、適任者のない場合は、決定を保留します。

12. その他

東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。
なお、お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することはありません。

令和3年2月10日

東京大学物性研究所長
森 初 果

東京大学物性研究所教員公募について（依頼）

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。
記

1. 研究部門名等および公募人員数 附属中性子科学研究施設（眞弓研究室）助教 1 名
当施設は日本原子力研究開発機構研究用原子炉(JRR-3)及び大強度陽子加速器施設(J-PARC)を用いた中性子散乱実験の全国共同利用研究施設である。主たる勤務地は茨城県東海村である。

2. 研究内容

眞弓准教授と協力して、中性子・X線散乱を主な実験手法に用い、高分子・ソフトマターの構造・ダイナミクス研究を意欲的に推進する研究者を希望する。これまでの中性子散乱の経験は問わないが、中性子散乱の全国大学共同利用にも積極的に参加して頂く。

3. 応募資格

博士号取得、またはこれと同等以上の能力を持つ方。

（令和4年3月までに博士学位取得予定の方も可。）

4. 任期

任期5年、再任可。ただし、1回を限度とする。

5. 公募締切

令和3年4月23日（金）必着

6. 着任時期

採用決定後なるべく早い時期。新卒の方は令和4年4月1日も可。

7. 提出書類

（イ）推薦の場合

○推薦書

○履歴書(略歴で可、下記 URL より東京大学統一履歴書フォーマットをダウンロードのうえ、作成すること)

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

○業績リスト（特に重要な論文に○印をつけること）

○主要論文の別刷（3編程度、コピー可）

○研究業績の概要（2000字程度）

○研究計画書（2000字程度）

（ロ）応募の場合

○履歴書(略歴で可、下記 URL より東京大学統一履歴書フォーマットをダウンロードのうえ、作成すること)

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

○業績リスト（特に重要な論文に○印をつけること）

○主要論文の別刷（3編程度、コピー可）

○研究業績の概要（2000字程度）

○研究計画書（2000字程度）

○指導教員等による応募者本人についての意見書（作成者から書類提出先へ直送）

8. 書類提出方法 郵送又はメール送付

郵送：「附属中性子科学研究施設（眞弓研究室）助教応募書類在中」、又は「推薦書在中」の旨を朱書し、簡易書留等配達状況が確認可能な方法で送付すること。

メール：件名は「眞弓研究室助教応募」とし、総務係までメールを送付すること。総務係から書類送付先フォルダを連絡するので、そちらに応募書類一式を保存すること。

9. 書類提出先

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号 東京大

学物性研究所総務係

電話 04-7136-3207 e-mail issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp

10. 本件に関する問い合わせ先

東京大学物性研究所 附属中性子科学研究施設

准教授 眞弓 皓一

e-mail: kmayumi@issp.u-tokyo.ac.jp

11. 選考方法

東京大学物性研究所教授会の議を経て、審査決定します。ただし、適任者のない場合は、決定を保留します。

12. その他

東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。なお、お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

令和2年12月17日

東京大学物性研究所長 森 初果

東京大学物性研究所教員公募について

東京大学物性研究所教員の公募を下記により行いますので、希望者の応募、適任者の推薦をお願い致します。

記

1. 研究部門名及び公募人員数 **凝縮系物性研究部門，量子物質研究グループ 准教授，または，教授 1名**

2. 公募内容

独創的な物性測定によって固体における量子現象の解明を推進し、物性物理学の新分野開拓に意欲的に挑戦する研究者を希望する。

3. 応募資格 博士号または同等の資格を有する、または、着任までに取得見込の方。

4. 任期

満 56 歳に達する年度の初めに任期 5 年の任期制に入り、再任は 1 回を 限度とする。なお、任期制の詳細については下記問い合わせ先に問い合わせること。

5. 公募締切

令和 3 年 4 月 30 日（金）必着

6. 着任時期

採用決定後後、なるべく早い時期を希望する。

7. 提出書類

- 履歴書（下記 URL より東京大学統一履歴書フォーマットをダウンロードの上、作成すること）

" <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

- 業績リスト（主要論文 5 編に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（5 編，コピー可）
- 研究業績の概要（A4 用紙，2～3 枚）
- 研究計画書（A4 用紙，2～3 枚）
- 応募者についての推薦書，または，意見書
（作成者本人から直接書類提出先に送付すること）

8. 書類提出方法 郵送，または，インターネット提出

郵送： 「凝縮系物性研究部門教員応募書類在中」，または，「凝縮系物性研究部門教員推薦書在中」の旨を朱書し，下記書類提出先に簡易書留等配達状況が確認可能な方法で送付すること。

インターネット提出： 空の電子メールを件名「凝縮系物性研究部門教員応募」にて下記書類提出先に送付すること。その後返信される電子メールに記載された書類送付先フォルダに応募書類一式をアップロードすること。

9. 書類提出先

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉 5 丁目 1 番 5 号

東京大学物性研究所総務係

電話：04-7136-3207 e-mail: issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp

10. 本件に関する問い合わせ先

東京大学物性研究所ナノスケール物性研究部門 教授 大谷義近

" e-mail: yotani@issp.u-tokyo.ac.jp

11. 選考方法

物性研究所教授会にて審査決定します。ただし、適任者のない場合には決定を保留します。

12. その他

東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。なお、提出された応募書類は返却されないことを了解の上、申し込み下さい。また、履歴書等の個人情報 は本公募の用途に限り使用し、正当な理由なく第三者に開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

令和 3 年 2 月 1 日

東京大学物性研究所長

森 初 果

東京大学物性研究所教員の公募を下記により行いますので、希望者の応募、適任者の推薦をお願い致します。

記

1. 研究部門名及び公募人員数 **物質設計評価施設、量子物質研究グループ 准教授、または、教授 1名**

2. 公募内容

3. 応募資格 博士号または同等の資格を有する、または、着任までに取得見込の方。固体化学的な独自の視点をもって物質開発を行い、新奇な量子現象を開拓し、物性物理学の新しい潮流を生み出す意欲的な研究者を公募する。

4. 任期

満56歳に達する年度の初めに任期5年の任期制に入り、再任は1回を限度とする。なお、任期制の詳細については下記問い合わせ先に問い合わせること。

5. 公募締切

令和3年4月30日（金）必着

6. 着任時期

採用決定後、なるべく早い時期を希望する。

7. 提出書類

- 履歴書（下記URLより東京大学統一履歴書フォーマットをダウンロードの上、作成すること）

" <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>

- 業績リスト（主要論文5編に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（5編、コピー可）
- 研究業績の概要（A4用紙、2～3枚）
- 研究計画書（A4用紙、2～3枚）
- 応募者についての推薦書、または、意見書

（作成者本人から直接書類提出先に送付すること）

8. 書類提出方法 郵送、または、インターネット提出

郵送：「物質設計評価施設教員応募書類在中」、または、「物質設計評価施設教員推薦書在中」の旨を朱書し、下記書類提出先に簡易書留等配達状況が確認可能な方法で送付すること。

インターネット提出：空の電子メールを件名「物質設計評価施設教員 応募」にて下記書類提出先に送付すること。その後返信される電子メールに記載された書類送付先フォルダに応募書類一式をアップロードすること。

9. 書類提出先

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

東京大学物性研究所総務係

電話：04-7136-3207 e-mail: issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp

10. 本件に関する問い合わせ先

東京大学物性研究所物質設計評価施設 教授 廣井善二

" e-mail: hiroii@issp.u-tokyo.ac.jp

11. 選考方法

物性研究所教授会にて審査決定します。ただし、適任者のない場合には決定を保留します。

12. その他

東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。なお、提出された応募書類は返却されないことを了解の上、申し込み下さい。また、履歴書等の個人情報には本公募の用途に限り使用し、正当な理由なく第三者に開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

令和3年2月1日

東京大学物性研究所長
森 初 果

5. R3年 短期研究会・ISSP-WS・国際WS

研究会名：	ISSP WS「物性科学におけるデータ科学の今と未来」
日時：	2021(令和3)年2月22日(月)13:00~19:00, 2021年2月24日(水)10:00~17:05
代表者・世話人：	川島 直輝(東京大学物性研究所)
主催：	東京大学 物性研究所 物質設計評価施設 設計部
協賛：	東京大学 物性研究所 スーパーコンピュータ共同利用、計算物質科学研究センター
URL：	https://ccms.issp.u-tokyo.ac.jp/event/4228
研究会名：	ISSP WS「先端軟X線科学への基幹技術」
日時：	2021(令和3)年3月4日(木)10:00~17:00
代表者・世話人：	木村 隆志(東京大学物性研究所)
主催：	東京大学物性研究所
共催：	東京大学放射光分野融合国際卓越拠点、VUV・SX高輝度光源利用者懇談会
URL：	https://sites.google.com/g.ecc.u-tokyo.ac.jp/sor-isspworkshop-2021/
研究会名：	International Workshop on Quantum Magnets in Extreme Conditions (QMEC)
日時：	2021(令和3)年3月22日(月)21:00~3月26日(金)24:00
代表者・世話人：	小濱 芳允(東京大学物性研究所)
主催：	東京大学物性研究所 附属国際超強磁場科学研究施設
共催：	強磁場フォーラム
URL：	https://ykohama.issp.u-tokyo.ac.jp/qmec2020/index.html

研究会名：	短期研究会「ガラスおよび関連する複雑系の最先端研究」
日時：	2021(令和3)年5月10日(月)~5月12日(水)
代表者・世話人：	山室 修(東京大学物性研究所)、田中 肇(東京大学生産技術研究所)、金谷 利治(京都大学)、宮崎 州正(名古屋大学大学院理学研究科)、早川 尚男(京都大学基礎物理学研究所)、深尾 浩次(立命館大学理工学部)、野寄 龍介(北海道大学大学院理学研究科)、新屋敷 直木(東海大学理学部)、浦川 理(大阪大学大学院理学研究科)、城田 秀明(千葉大学大学院理学研究院)、山室 憲子(東京電機大学理工学部)
主催：	東京大学物性研究所 附属中性子科学研究施設
研究会名：	10th International Workshop of Advanced Spectroscopy of Organic Materials for Electronic Applications (ASOMEA-X)
日時：	2021(令和3)年10月25日(月)~10月29日(金) (第1希望)
代表者・世話人：	吉信 淳(東京大学物性研究所)
URL：	https://yoshinobu.issp.u-tokyo.ac.jp/ASOMEAX.html

6. R2年度共同利用状況（コロナ禍対応）

R2年度経緯

●来所必要となる共同利用課題について

- ・非常事態宣言期間（4月～5月）においては共同利用は実施なし
- ・6月以降 大学における活動制限指針により、同キャンパス内の共同利用申請課題の利用開始
- ・7月以降、東京大学の学外からの利用も開始

◇課題実施ができない主な理由

- ・利用者所属の大学等機関による出張制限により来所ができない
- ・所属機関においての研究活動自体が新型コロナウイルス感染症の影響により実施できず、共同利用課題申請はしたものの試料の準備などができないことが原因

●来所を必要としないスパコン利用

- ・新型コロナウイルス感染症の影響は受けていない。

→ 全体で、例年と比較した実施数は約 5 割程度 （2020年12月末時点）

<対応策例>

課題有効期間の延長

実施できなかった前期の共同利用課題においては、年内延期可能とする対応を行い、13件実施。

オンライン代理実験

試料等を郵送し物性研究所の教職員等が、オンラインでの実験相談を交えながら、代理で実験で10件実施。

7. 共同利用システムの整備について

目的

- ・ 共同利用の申請課題と成果の関連や共同利用状況の把握のための共同利用のデータベース化
- ・ 共同利用申請及び手続きの効率化や簡素化

共同利用システムの整備（新しいシステムの導入）にあたり、以下の改定・変更

● 制度の改定

- ・ 「親申請・子申請制度」 → 課題申請制度 子申請の申請を不要にし、分担者登録のみに。

● 申請プロセス変更

- ・ 所属長承認過程を申請時から課題採択後の手続き時に変更課題実施前にアップロードし、来所の際に提出

● 強磁場分野における東北大学金属材料研究所との連携

- ・ 強磁場科学分野において、金研との共同利用課題の相互乗り入れ
【強磁場コラボラトリ-】



- Web申請について
- Web申請の流れ
- 「課題の申請」画面の入力ガイド
- 共同利用課題研究計画書
様式
- 一般研究員
- 一般研究員
(物質合成・評価設備 (物質設計評価施設))
- 一般研究員
(国際超強磁場科学研究施設 兼 強磁場コラボラトリ-課題)
- 一般研究員
(軌道放射物性研究施設)
- 留学研究員



ログイン

ユーザーID

ログインパスワード

☐ 次回から入力を省略

ログイン

これまでご利用いただいたIDは使えません。新規でのユーザー登録が必要となります。

ユーザー新規登録

パスワードを忘れた方はこちら